

## 審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和7年度第2回 市政20周年記念事業選考委員会
2. 開 催 日 時	令和8年2月20日(木) 午後1時00分~2時30分
3. 開 催 場 所	松阪市役所 議会棟 第3・4委員会室
4. 出席者氏名	出席委員：村林守委員、高島信彦委員、中川奈美委員、本多克幸委員、中北直子委員、木本英伸委員、青木謙委員、萩原則子委員、岡田久委員、藤木洋司委員  事 務 局：林経営企画課長、小川経営企画課政策経営担当主幹、上村政策経営係長、長井係政策経営係主任  森川上下水道総務課長、坂下上下水道総務課総務担当主幹、森総務係主任
5. 公開及び非公開	公開(一部非公開)
6. 傍 聴 者 数	0人(内、報道関係0社)
7. 担 当	松阪市企画振興部 経営企画課 TEL 0598-53-4319 FAX 0598-22-1377 e-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp

・要旨は別紙のとおり

## 令和7年度第2回 市制20周年記念事業選考委員会 議事録要旨

### 1. 市制20周年記念事業実施報告書(案)について

資料に基づいて資料案の提示、ホームページにPDFファイルをして公開する旨を説明。

### 2. 各委員より講評(要旨)

- ・ビックプライド醸成の目的は重要。特に若い世代(小中高生)へのアプローチを強化し、将来的な定住やUターンにつながる仕掛けが必要。今後は教育委員会等と連携し、ICTツールを活用した広報など効果的な方法に期待する。
- ・子どもたちがパレードや祭り等のイベントに主体的に参加できたことは素晴らしい経験。地域愛の醸成にもつながっている。自身の経験からも、松阪愛を持ち続ける子どもたちが増えていくことを期待する。
- ・事業内容が整理されており、30周年に向けた良い資料となった。一点改善要望として、公募事業における「補助金額」を明記すべき。商売の町としてシビアな収支情報を示すことが、将来への申し送りになる。
- ・多くのイベントを通じて松阪市の魅力が発信できた。全国の20周年事業と比較しても、サイトの充実度や内容のボリュームは非常に高く、市民周知もしっかりなされていた。
- ・自身もイベント(松阪マラソン等)に参加し、肌で20周年を感じる事ができた。マラソンへの参加は楽しかったが、インフルエンザ等で参加できなかった子どもの声もある。人口減少対策としても、今後もこうしたイベントを継続してほしい。
- ・多文化交流や植栽など、イベントを通じて新しい文化を共有できた。松阪はイベントが多く活気ある街。本居宣長や武四郎といった既存の資源に加え、新しい文化を市民で育てていく未来を期待する。
- ・想定を大きく超える来場者数で成功した。特に「すずの森公園のクリスマスツリー」は多くの人を集め、近隣施設への波及効果も高かった。この成功体験を今後につなげる責任がある。
- ・市制20周年は、市民や市役所が「松阪市のアイデンティティ」を再認識する深い意義があった。体験を通じた魅力再発見ができた一年であり、この機運を広げ、人口減少の課題等への対応につなげていくべき。
- ・市民活動の熱量が非常に高かった。今後は、クリスマスツリーのようなインパクトのある事業は、市民を運営側(スタッフ等)に巻き込む仕組みを作るとさらに盛り上がると思う。30周年に向けた継続性や、手法の偏りへの配慮を要望する。

### 3. 会長総括

大成功の一言。26万人という延べ参加者数は他市に例を見ない成果。市民主体で幅広い事業をやりきった力量は素晴らしい。報告書には市民の声や熱量を反映させ、今後も市民が汗をかく持続可能な仕組みづくりが必要。

### 4. その他

委員の指摘を踏まえて、報告書の修正を行い公表する。

本委員会の任期は3月末までとなっているが、委員会の開催は今回が最終となる。